

「花と  
レンガ  
のまち」  
野木  
フラワー  
カーペット  
2018

4月28日(土)~30日(月)

野木町のキャッチフレーズである、「ひまわりの里」、「花とレンガのまち」、「招福のまち」を表現した3点の巨大花絵アートを作成しました!!

※このイベントは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し実施した事業です。



アートで魅せる花絵の絨毯

4月28日(土)から30日(月)の3日間、野木町煉瓦窯にて『花とレンガのまち』野木フラワーカーペット2018』が開催されました。

「フラワーカーペット」は、花びらを貼り合わせて一つの大きな絵を作り上げるイベントで、今回、野木町では、新潟県胎内市から約12万本のチューリップを取り寄せ、200名以上のボランティアの方々とともに、一枚一枚花びらを敷き詰め、関東最大級となる巨大な花絵アートを作成しました。



～ひまわりの里～  
フインセント・ファン・ゴッホ「花瓶に生けたひまわり」



## 【花絵の作り方】



1. 花ばらし  
茎のついた花をむしり、花びらだけを1枚1枚、色別に仕上げをします。

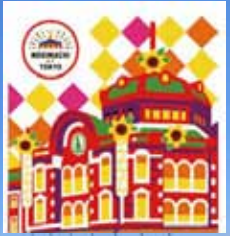


2. 花ならべ  
下絵のラインに沿って、カラーサンドで輪郭を描き、該当する色の花びら1枚1枚を敷き詰めて、糊で固定します。



3. 仕上げ  
カラーサンドを使用して絵のラインを明確にして、仕上げを行います。

「花とレンガのまち」  
東京駅「丸の内駅舎」



「招福のまち」  
町の鳥「ふくろう」



空から眺めると、絵柄がよりはっきりと浮かび上がります。  
(約30メートル上空からドローンで撮影：折原正晃氏撮影)



最終日には、花びらを空に向かって投げる「フラワーシャワー」や、花絵の上を歩く「フラワーウォーキング」が行われ、大盛況だった3日間のイベントを締めくくりました。

花絵作成ボランティアの皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



花絵アート  
制作体験

当日参加の50名が、「花ばらし」から「花ならべ」までの、花絵アートの制作体験を楽しみました。

本物の出会い  
「野木町」

